

世田谷区立奥沢中学校校舎棟他解体工事説明会
（奥沢中学校改築（区立児童館との一体整備）に関する条例等説明）
議事要旨

開催日時	令和7年7月24日（木）18時30分～19時30分
開催場所	奥沢中学校 総合教室
次第	1. 奥沢中学校挨拶 2. 世田谷区挨拶 3. 出席者紹介 4. 条例等説明 5. 解体工事説明 6. 質疑応答 7. 閉会挨拶
配布資料	1. 次第 2. 世田谷区立奥沢中学校改築 （区立児童館との一体整備）に関する条例等説明について 3. 世田谷区立奥沢中学校校舎棟他解体工事説明について
参加者数	6名

【質疑応答】

質問1

アスベストの健康被害のリスクについて。

→長期間に少量のばく露をすると中皮腫という肺がんの一種の病気にかかり、短期間に大量のばく露をすると赤面塵肺という病気にかかる

ただし、短期間のばく露で健康被害が出るというものではない（解体事業者）

質問2

教職員の健康被害についてはどう考えているか。

→アスベストについては事前に調査し、調査後含有が確定した建材を区や労働基準監督署に報告を行う。

含有されている建材の除去方法を併せて報告し飛散する作業は行わない。（解体事業者）

質問3

アスベストについてすべて把握されているのか。

→現時点で確認ができるものについては把握をしている。

ただし、工事を施工する上で不明な建材がある場合はその都度調査を行う。（解体事業者）

質問4

工事施工中に新たにアスベストが含有された建材があった場合工期や費用は変わるのか。

→工事施工中でアスベストが発見されたら工期、費用が変わる恐れある。

今現在は工期が変わるほどの変更はない。(解体事業者)

質問5

アスベストの費用について当初から見込まれているのか。

→現段階でアスベストが含有しているものについては工事費に見込んでいる。

工事の中で含有が判明した建材についてはその都度追加を行い対応する。(区)

質問6

区としては多額のアスベスト除去費用が掛かるのは承知の上で工事を行うのか。

→アスベストの撤去は法に基づいて行うものなので撤去を見込んで工事を行う。(区)

質問7

アスベストの施工について作業員の資格は必要なのか。

→作業を管理するものは石綿作業主任者という技能講習の資格が必要

従事する作業員については石綿除去教育の資格が必要。

石綿除去に関する作業については資格が必要となる。(解体事業者)

質問8

・解体工事での騒音や振動の基準値はどのくらいか。

→騒音・振動については基準値があるのでそれを超えないように作業を行う。

騒音 85 デシベル (騒音計のそばに救急車が通ると基準値は超える)

振動 7.5 デシベルを超えないように (おおよそ震度4程度) (解体事業者)

質問9

騒音・振動が起こる頻度はどの程度なのか。

→解体工事の資料内工事工程表内の8, 10, 11の赤の期間は大型機械を使つての作業になるため振動が起きる可能性がある。

騒音については基礎工事の解体時に大きな騒音が出る可能性がある。(解体事業者)

質問10

リモートが拡大してきた昨今、平日での騒音・振動についてどのように考えているか。

→極力近隣への迷惑をかけないように重機の運行を遅くする等の対策を行う。(解体事業者)

質問１１

リモート授業や在宅勤務が騒音・振動で行えないときの保証はあるのか。

→その都度対応を行うが、どの程度振動、騒音が出ているのか確認し対策を行う。（解体事業者）

質問１２

近隣から苦情があった時はすぐ工事を止めるのか。

→苦情が出た際は状況を確認しその都度対応する。（解体事業者）

質問１３

騒音・振動が大きく出ると予想される日について近隣に周知を行うのか。

→１週間前に工事の予定貼りだし近隣に周知。また、大型重機を行う作業の１週間前には近隣に周知を行う。（解体事業者）

質問１４

防音パネルの高さはどのくらいになるのか。

→足場については解体する建物より高く設置し、その外部に防音パネルを設置するので解体する建物より高くなる。（解体事業者）

質問１５

「世田谷区立奥沢中学校校舎棟他解体工事説明会資料」の高圧散水の状況写真について資料の写真のように弱い水で散布するのは粉塵対策に効果はあるのか。

→散水機に関しては１台で複数箇所の散水できる。また、ノズルから１２から１３ｍほど散水ができる。（解体事業者）

質問１６

高圧散水機についての設置台数は何台か。

→１台で賄えるものとなる。（解体事業者）

質問１７

「世田谷区立奥沢中学校改築（区立児童館との一体整備）に関する条例等説明について」１０ページ生き物の生育環境の確保について学校敷地外で鳥害や獣害があったため実のなる樹木はやめてほしい。

→ご意見として承り、検討を行う。（区）

質問１８

新しい樹木を植樹するのではなく、奥沢地区にある既存の樹木を最大限活かした緑化計画として欲しい。

→緑化条例の中でも既存の樹木を残す方針であるが、今回の計画では新規の道路新設等の計画もあり、既存の樹木を残すことが難しく学校の計画に合わせて新しく植樹する方針とした。（区）

→若木が多いことは確かにさみしさを感じるが、計画上難しいとのことで承知している。新たな校舎、新たな樹木とともに育てていくということだと考えている。(学校)

質問19

MX テレビにブロットノイズが入るよう電波障害が生じている。仮設校舎の建築と関係はあるのか。

→仮設校舎の建設でノイズが生じたということであれば個別に調べることは可能。

被害の調査や対応方法については施工業者と確認し検討する。(区)

※後日質問者から連絡あり。電波障害の調査について仮設校舎以外の要因が考えられるため調査不要とのこと。